

FOMA 端末データ交換編

赤外線通信を利用する	346
データの送受信(OBEX)	358
miniSDメモリーカード	363

この取扱説明書で掲載している画面はイメージであるため、実際の画面とは異なる場合があります。

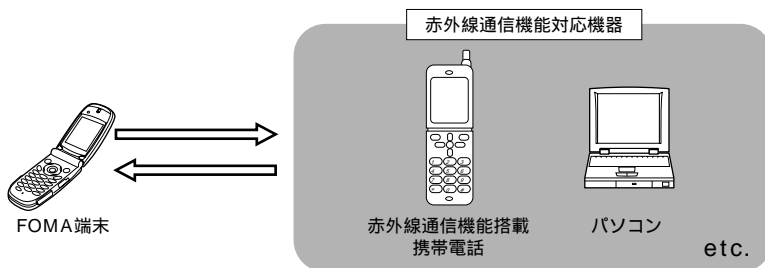
赤外線通信について

「赤外線通信機能」を搭載したほかのFOMA端末やパソコンなどと、電話帳や受信メールなどのデータを送受信できます。

また、iアプリで赤外線通信を利用し、ほかの「赤外線通信機能」を搭載した機器とも連動させることができます。

赤外線通信を利用することで、次の操作が簡単にできます。

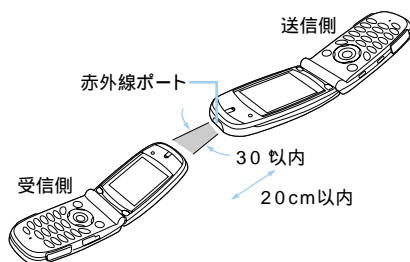
- ・ほかの赤外線通信機能搭載携帯電話やパソコンと、データの送受信ができます。
- ・データの送受信は、「1件受信」、「1件送信」、「全件転送（全件の送信、全件の受信）」ができます。



赤外線通信をするときは

赤外線通信をするときには、次のことにご注意ください。

- ・受信側のFOMA端末を先に受信状態にして、送信側のFOMA端末を20cm以内に近づけます。
- ・机などの安定した台の上に、赤外線ポートが平行に向き合うように置いてください。
- ・通信中はFOMA端末を動かさないでください。
- ・通信中はFOMA端末の間にものを置いたり、赤外線ポートをふさいだりしないでください。
- ・データの送受信ができなかったときは、FOMA端末の位置を調節して再度通信を行ってください。
- ・直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、これらの影響によって正常に通信できない場合があります。



赤外線通信利用にあたってのご注意

こんなときは赤外線通信ができません。またデータも登録できません

- ・ FOMA端末の「赤外線通信機能」はIrMC1.1に準拠しています。IrMC1.1に準拠していない端末との赤外線通信はできない場合があります。また相手の機種によっては、IrMC1.1に準拠していても送受信できないデータがあります。
- ・ 「PIMロック」中、「オールロック」中、「セルフモード」中は、「赤外線通信機能」を使ってデータを転送できません。
- ・ FOMAカードの電話帳、SMSは送受信できません。
- ・ 赤外線通信中、次のようなときは通信が中断されて、続けるかどうかのメッセージが表示されます。
 - ・ 受信側で約30秒以内にデータの受信がないとき
 - ・ 送信側で受信側の端末を検出できないとき
 「YES」を選ぶと、もう一度通信をやり直すことができます。通信をやめるときは、「NO」を選びます。このとき、約30秒以内に操作しないと、自動的に赤外線通信を終了します。
- ・ 次の場合は、1件受信したデータが登録できないことを通知するメッセージが表示されます。
 - ・ 同じURLのブックマークを受信したとき
 - ・ 40Kバイトを超えたSMF形式のメロディを受信したとき
 - ・ 30Kバイトを超えたMFI形式のメロディを受信したとき
 - ・ ヨコ1616×タテ1212を超えるJPEG画像やヨコ640×タテ480を超えるGIF画像を受信したとき
 - ・ 600Kバイトを超える静止画を受信したとき
 - ・ ただし、596Kバイトを超えるJPEG画像は保存できない場合があります。
 - ・ JPEG、GIF形式以外の静止画を受信したとき
 - ・ 800Kバイトを超えた動画やiモーションを受信したとき
 - ・ MP4形式以外の動画を受信したとき
 - ・ 同じ日付時刻で同じ繰り返し設定(なし/あり)のスケジュールのデータを受信したとき
 - ・ 時計設定が行われていないときに、スケジュールまたはToDoのデータを受信したとき
- ・ 次のような状態(データがいっぱい)のときに同じ種類のデータを1件受信した場合は、データが登録できないことを通知するメッセージが表示されます。
 - ・ すでに名前や電話番号またはメールアドレスが700件登録されているときや、受信したときに700件を超えるとき
 - ・ すでにスケジュールが100件登録されているとき
 - ・ すでにToDoが100件登録されているとき
 - ・ すでにテキストメモが10件登録されているとき
 - ・ すでにブックマークが100件登録されているとき
 - ・ すでに保存メールが10件保存されているとき
 - ・ すでに受信メールが未読メールと保護メールでいっぱいするとき(データ量により件数は変わります)
 - ・ すでに静止画がいっぱいするとき(データ量により件数は変わります)
 - ・ すでに動画やiモーションがいっぱいするとき(データ量により件数は変わります)
 - ・ すでにメロディがいっぱいするとき(データ量により件数は変わります)
- ・ 送信する相手のFOMA端末の状態によっては、「認証できませんでした」、「送信先のデータがいっぱいです」、「送信先にデータを登録できません」などのメッセージが表示される場合があります。これらのメッセージが表示されたときは送信できません。

赤外線通信中には、こんなことができません

- ・ 受信レベルが表示されていても、赤外線通信起動中(「Ir」表示中)はほかの通信を行うことができません。
- ・ 音声通話中やテレビ電話中、iモード中、パケット通信中、64Kデータ通信中に本機能を利用することはできません。『基本編』のP.353
- ・ 「赤外線通信機能」起動中は圏外となります。音声電話やテレビ電話、iモード、iモードメール、パケット通信などはできません。

1件送受信

1件のデータを送受信します

FOMA端末内の1件データを、ほかのFOMA端末と赤外線を送受信します。

送受信できるデータは、次のとおりです。

- ・ 電話帳
- ・ 電話番号表示の個人データ
- ・ スケジュール
- ・ ToDo
- ・ 送信メール
- ・ 受信メール
- ・ 保存メール
- ・ テキストメモ
- ・ メロディ
- ・ 静止画
- ・ 動画
- ・ ダウンロードした静止画
- ・ サイトやインターネットホームページから取り込んだiモーション
- ・ ブックマーク

iアプリ起動のデータを受信して利用できます。「赤外線通信機能を利用してiアプリを起動します」 P.77

受信できる電話帳のデータ

- ・ 名前、フリガナ、電話番号、メールアドレス、郵便番号、住所、メモ、静止画、動画の各データおよびアイコンの情報です。
- ・ 受信した「電話番号表示」のデータは電話帳として登録されます。

電話帳の1件送受信について

- ・ 電話帳に登録される電話番号は、メモリ番号「010」～「699」の空いているメモリ番号の中で最も小さいメモリ番号に登録されます。「010」～「699」がすべて登録されているときは、「000」～「009」(「ツータッチダイヤル」(『基本編』のP.110))の空いているメモリ番号の中で最も小さいメモリ番号に登録されます。
- ・ 電話帳のデータを受信した場合、すでに名前や電話番号またはメールアドレスが700件登録されているときや700件を超えるときは、登録できないことを通知するメッセージが表示されます。
- ・ 電話帳に複数の電話番号およびメールアドレスが登録されているときも、すべてのデータが送受信されます。
- ・ 「ダイヤル発信制限」設定中は、電話帳のデータの送受信ができません。
- ・ 「電話番号表示」のデータは「指定発信制限」が設定中でも送信できます。
- ・ 「指定発信制限」が設定されている場合、電話帳のデータの受信はできません。
- ・ 「シークレットモード」(『基本編』のP.201)、「シークレット専用モード」(『基本編』のP.201)でシークレットデータとして登録された電話帳は、「シークレットモード」または「シークレット専用モード」が解除されて送受信されます。
- ・ 電話帳のシークレットコードは送受信できません。

赤外線通信に時間がかかるときは

- ・ 電話帳の送受信を行うと、登録されている静止画や動画も転送されるため、送受信に時間がかかることがあります。送受信の時間を短縮するために、「電話帳画像転送」(P.357)を、「しない」に設定し、電話帳の静止画や動画を転送しないようにすることができます。



お知らせ

電話帳を送受信する場合、受信するFOMA端末に静止画や動画を登録する空き容量がないときには電話帳に登録された静止画や動画のデータが正しく送受信できないことがあります。

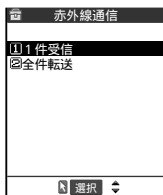
データを1件受信します

1回の通信で受信できるのは1件のみです。

<例：電話帳1件のデータを受信する場合>



1   「赤外線通信」の順に選ぶ

2 「1件受信」を選ぶ



受信モードになります。

データの受信を中止する場合

 または  を押す

3 相手のFOMA端末からデータを送信する

送信のしかたについて P.346

データの受信がはじまります。

通信相手がFOMA端末ではない場合


通信状況を表すバーが表示されないことがあります。

受信後、約30秒間操作しない場合

受信したデータを破棄します。

4 「YES」を選ぶ

受信したデータの登録が完了すると、登録完了を通知するメッセージが表示されます。

赤外線通信終了後、「外」が表示されることがあります。

受信したデータを登録しない場合

「NO」を選ぶ

おしらせ

保護されている受信メール、送信メールも送受信されます。

INBOXフォルダの空き容量がないときは、ゴミ箱フォルダ内のメールを削除してINBOXフォルダに登録されます。受信したメールが空き容量より大きいときは、保護されていない既読の受信メールの最も古いものの上書きされます。

送信メールは、送信BOXフォルダの保護されていない最も古い送信メールの上書きされます。デコメールを送信する場合、送信する相手がデコメールに対応していない場合は、受信相手が正常に登録できない場合があります。

受信した写真(静止画)や動画のデータはINBOXフォルダに登録されます。

対向機の内蔵カメラで撮影した写真(静止画)や動画、加工した静止画、ダウンロードした静止画、サイトやインターネットホームページから取り込んだiモーションのデータを受信したときは、すべてINBOXフォルダに保存されます。

受信したブックマークのデータは、Bookmarkフォルダー一覧の「Bookmark」フォルダに保存されます。

受信したメロディのデータは、メロディプレーヤーのINBOXフォルダに保存されます。

受信したメロディは、最も小さい番号に登録されます。

フレームのデータやFlash画像の受信はできません。

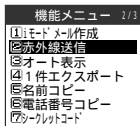
データを1件送信します

1回に送信できるのは1件のみです。

<例：電話帳1件のデータを送信する場合>

1 データを送信する電話帳を表示させる

2 機能メニューから「赤外線送信」を選ぶ



3 「YES」を選んでデータを送信する

相手の端末を受信状態しておきます。 P.349

データの送信がはじまります。

送信が完了すると、通信の完了を通知するメッセージが表示されます。

中止する場合

「NO」を選ぶ

その他のデータを送信するときは

電話番号表示の個人データ

受信側のFOMA端末では電話帳に登録されます。

自局番号とiモードメールアドレスのみ

電話番号を表示

電話番号表示に登録されているすべてのデータ

電話番号表示の「全データ表示」を表示

スケジュールのデータ

開始終了時刻、スケジュール内容、繰り返し、アラーム通知設定、スケジュールアイコンの情報を送受信します。アラーム音は時刻アラーム音で登録されます。また、登録されている絵文字も送受信できますが、受信する端末によっては、正しく表示されないことがあります。

スケジュールの予定内容確認画面を表示

日付ごとのスケジュールの一覧画面を表示

アイコン別スケジュールの一覧画面で送信するスケジュールを表示

ToDoのデータ

ToDoの一覧画面または詳細画面を表示

要件、期日、完了日、カテゴリー、状態、優先度、アラーム通知設定の情報を転送します。アラーム音は時刻アラーム音で登録されます。

受信メール、送信メール、保存メールのデータ

受信メールの詳細画面、または一覧画面で送信したいメールを表示

送信メールの詳細画面、または一覧画面で送信したいメールを表示

保存メールの一覧画面を表示

テキストメモのデータ

テキストメモの詳細画面、または一覧画面で送信したいテキストメモを表示





メロディのデータ

「メロディプレイヤー」の一覧画面を表示

ファイル制限が「あり」のメロディは送信できません。ただしOBEXで受信したデータは、ファイル制限が「あり」に設定していても送信できます。また、ユーザ作成フォルダの一覧表示から送信することもできます。






静止画のデータ

「イメージビューア」の「カメラ」または「INBOX」の一覧画面を表示

ファイル制限が「あり」の静止画（タイトルの前に 、、、 のついている静止画）は送信できません。ただし、内蔵カメラで撮影した写真（静止画）や、OBEXで受信したデータ、miniSDメモリーカードからインポートしたデータは、ファイル制限を「あり」に設定していても送信されます。また、ユーザ作成フォルダの一覧表示から送信することもできます。

動画またはiモーションのデータ

「ムービープレイヤー」の「カメラ」または「INBOX」の一覧画面を表示

ファイル制限が「あり」の動画またはiモーション（タイトルの前に 、、、、 のついているiモーション）は送信できません。ただし、内蔵カメラで撮影した動画や、OBEXで受信したデータは、ファイル制限を「あり」に設定していても送信されます。また、ユーザ作成フォルダの一覧表示から送信することもできます。

ブックマークのデータ

「ブックマーク」の一覧画面を表示

機能メニューから
「赤外線送信」を
選ぶ

：保護されている送受信メールを送信すると、受信側では保護が解除されて通常のデータとして保存されます。iモーション取得前のiモーションメール、およびアプリの起動指定が貼り付けられているメールは、それぞれ貼り付けられているデータを削除して送信します。メールに添付されているデータのファイル制限が「あり」の場合、そのデータも削除されて送信されます。また、静止画の形式によっては削除されて送信されるものがあります。ただし、送信メールと保存メールの場合で、添付されているのが内蔵カメラで撮影した写真（静止画）や動画のときや、OBEXで受信したデータ、miniSDメモリーカードからインポートしたデータは、ファイル制限を「あり」に設定していても送信されます。

データをまとめて送受信します

FOMA端末内の全件のデータを、ほかのFOMA端末と赤外線で送受信できます。送受信できるデータは、次のとおりです。

- ・電話帳
- ・電話番号表示の個人データ
- ・スケジュール
- ・ToDo
- ・送信メール
- ・受信メール
- ・保存メール
- ・テキストメモ
- ・ブックマーク

受信できるデータは、次のとおりです。

- ・メロディ
- ・写真(静止画)
- ・動画
- ・ダウンロードした静止画
- ・サイトやインターネットホームページから取り込んだiモーションのデータ

「全件転送」をする前に必ずお読みください

全件転送について

- ・全件受信をすると、受信したデータにより上書きされ、登録されていたデータは保護メールやシークレットデータも含めてすべて削除されます。全データの受信を行う前に、大切なデータが登録されていないことをお確かめください。

「電話帳」の「全件転送」について

- ・「電話帳」のデータは、メモリ番号順に送受信されます。
- ・送受信される「電話帳」のデータは、名前、フリガナ、電話番号、メールアドレス、郵便番号、住所、メモ、静止画、動画、グループ名およびアイコンの情報です。
- ・送信側の「電話番号表示」のデータは、自局番号以外がすべて転送され、受信側に上書きされます。メールアドレスも送信側のメールアドレスに上書きされますので、転送後に受信側のメールアドレスに変更してください。
- ・「電話帳」に複数の電話番号およびメールアドレスが登録されているときもすべてのデータが送受信されます。
- ・シークレットデータとして登録されている電話帳は、シークレットデータとして受信されます。
- ・電話帳のシークレットコードは送受信できません。

おしらせ

「電話帳」の全件転送を行う場合、静止画は「イメージビューア」に、動画は「ムービープレーヤー」に追加保存されるため、保存可能容量を超えた静止画や動画は保存されません。

通信状況を表すバー表示は送信した件数を目安としてお知らせします。転送するデータのサイズによっては、データが正しく転送されていてもバー表示の進み具合が遅くなることや、通信の相手側と異なって見えることがあります。

送受信するデータ量によっては、通信に時間がかかる場合があります。

受信メールやブックマークを送受信した場合、相手の機種によっては、フォルダ分けの設定が反映されないことがあります。

メール連動型iアプリの受信メールフォルダは転送できません。フォルダ内のメールはすべてINBOXフォルダに登録されます。

認証パスワードについて



「全件転送」では、送信側と受信側のFOMA端末を正確に認識するために、認証パスワードを使用します。認証パスワードは、送信、受信をはじめる前にお好きな4桁の番号を決めておき、送信側と受信側で同じ番号を入力します。

認証パスワードは、「全件転送」を行うたびに入力してください。

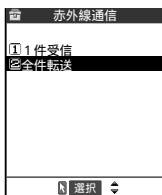
認証パスワードの入力画面で、間違った番号を入力すると、「全件転送」はできません。

認証パスワードの入力画面で、認証パスワードを入力しないで約30秒過ぎると、送信および受信がキャンセルされて元の画面に戻ります。

データをまとめて受信します

1   「赤外線通信」の順に選ぶ

2 「全件転送」を選んで受信の準備をする

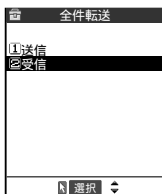


3 端末暗証番号を入力する

入力した端末暗証番号は「_」で表示されます。

端末暗証番号について P.21

4 「受信」を選ぶ



5 認証パスワードを入力する

入力した認証パスワードは「_」で表示されます。

認証パスワードについて 上記

6 「YES」を選ぶ

中止する場合

「NO」を選んで  [選択] を押す

7 通信相手のFOMA端末からデータを全件送信する

送信のしかたについて 下記

8 「YES」を選び、全件上書きをする

中止する場合

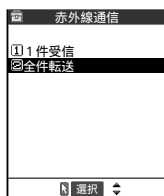
「NO」を選んで  [選択] を押す

受信が完了すると、通信完了を通知するメッセージが表示されます。

データをまとめて送信します

1 「赤外線通信」の順に選ぶ

2 「全件転送」を選ぶ

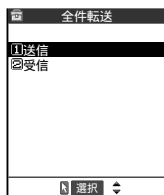


3 端末暗証番号を入力する

入力した端末暗証番号は「_」で表示されます。

端末暗証番号について P.21

4 「送信」を選ぶ



5 まとめて送信するデータを選ぶ

6 認証パスワードを入力する

入力した認証パスワードは「_」で表示されます。
認証パスワードについて P.353

7 「YES」を選ぶ

送信がはじまります。

送信が完了すると、通信完了を通知するメッセージが表示されます。

中止する場合

「NO」を選んで  [選択] を押す

おしらせ

「電話帳画像転送 (P.357) を「しない」に設定しているときは、電話帳の静止画や動画を送信することはできません。

赤外線リモコン機能

赤外線リモコン機能を利用します


サイトなどからテレビやビデオなどのリモコン用iアプリのソフトをダウンロードすると、FOMA端末を赤外線リモコンとして利用できます。

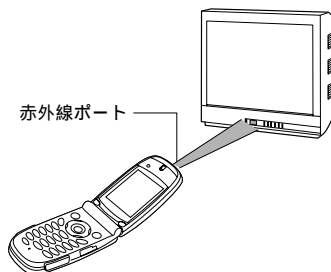
ご使用になりたい製品に該当するソフトをダウンロードしてください。ただし、ご使用になりたい製品に該当するソフトがない場合もあります。また、該当するソフトでもその製品には対応しておらずリモコン操作ができない場合があります。

FOMA端末で利用できるリモコンのソフトは、iMenuの中のサイトからダウンロードすることができます。

「セルフモード (『基本編』のP.207) に設定しているときはリモコン操作できません。


リモコン操作について

FOMA端末の赤外線ポートを、テレビなどのリモコン受信部の正面に向けてリモコン操作をしてください。操作できる範囲は正面でおおよそ4mですが、周囲の明るさによって変わります。リモコン操作をしているときは、画面に「」が表示されます。




TVリモコンを利用します



FOMA端末には、テレビのリモコンとして利用できるiアプリのソフトが用意されています。iアプリ待受画面(P.85)としても利用できます。

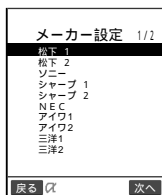
「TVリモコン」には、あらかじめ20種類のリモコンデータが用意されています。ご使用のテレビに該当するリモコンデータを選んで設定してください。ただし、ご使用の製品に該当するリモコンデータがない場合があります。



リモコンデータに該当するメーカー製のテレビでも、その製品には対応しておらずリモコン操作ができない場合があります。また、一部の機能が操作できない場合もあります。



「TVリモコン」にあらかじめ用意されているリモコンデータは、次の通りです。

- ・松下1/2 ・ソニー ・シャープ1/2 ・NEC ・アイワ1/2
- ・三洋1/2 ・パイオニア ・JVC1/2 ・フナイ1/2/3 ・三菱
- ・東芝 ・日立 ・富士通ゼネラル

iアプリ待受画面として設定しているiアプリに「TVリモコン」を選んでいる場合は、iアプリ待受画面でを押すとTVリモコン画面が表示されます。



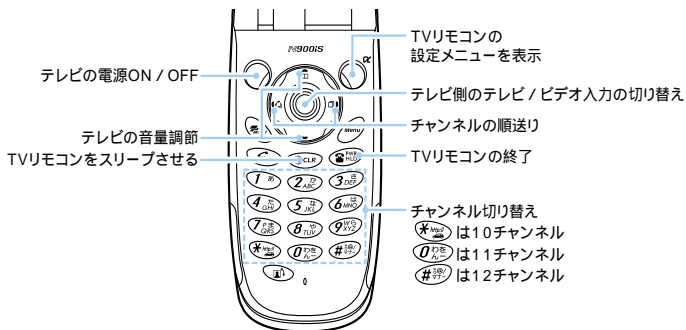
1   「ソフト一覧」の順に選ぶ

2 「TVリモコン」を選んで [選択]を押す



はじめてTVリモコンを起動したときや、操作したいテレビが変わったときは、ご使用のテレビメーカー(リモコンデータ)を設定します。

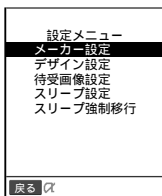
3 TVリモコンとして操作する



テレビメーカーを設定して、TVリモコンのデザインなどを設定します

ご使用のテレビに合ったリモコンデータを選んだり、TVリモコンをお好みのデザインに変更します。また、iアプリ待受画面に設定したときのスリープ時の画面を設定したり、スリープするまでの時間を設定できます。

1 「TVリモコン」を起動して「設定」を押す



iアプリ待受画面からTVリモコンを起動した場合の設定メニュー画面

リモコンデータを設定する場合

「メーカー設定」を選んで●を押し、リモコンデータを選んで●を押し

TVリモコンのデザインを変更する場合

「デザイン設定」を選んで●を押し、デザインを選んで●を押し

iアプリ待受画面に設定したときのスリープ時の画面を設定する場合

「待受画像設定」「画像選択」・「YES」の順に選び、フォルダを選んで画像を選ぶ

「プリインストール」フォルダの画像は選択できません。

スリープするまでの時間を設定する場合

「スリープ設定」を選んで●を押し、時間(30秒～3分)を選んで●を押し

iアプリ待受画面として使用したときに、設定した時間、操作しないと「待受画像設定」で選択した画像を表示します。

すぐにスリープさせたい場合

「スリープ強制移行」を選んで●を押し

「メニュー」▶「iアプリ」▶「ソフト一覧」から「TVリモコン」を起動した場合は、設定メニューに「スリープ強制移行」は表示されません。

リモコン画面に戻る場合

●[戻る]を押し

電話帳画像転送

電話帳の画像を転送しないように設定します

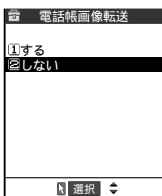
お買い上げ時 する

「赤外線通信機能」(P.346)または「データの送受信(OBEX)機能」(P.358)、miniSDメモリーカードへのエクスポート(P.371)を利用して、電話帳に登録されている静止画、動画を転送しないように設定します。

「赤外線通信機能」や「データの送受信(OBEX)機能」を利用して電話帳の送受信を行うと、電話帳に登録されている静止画、動画も転送されるため送受信に時間がかかることがあります。送受信の時間を短縮するために、本機能で「しない」に設定し、電話帳の静止画と動画を転送しないようにできます。

1 ▶の順に選ぶ

2 「電話帳画像転送」を選ぶ



「する」を選んだ場合

「赤外線通信機能」、または「データの送受信(OBEX)機能」で電話帳を送信するときに、すべてのデータを送信します。

「しない」を選んだ場合

「赤外線通信機能」、または「データの送受信(OBEX)機能」で電話帳を送信するときに、静止画と動画以外のデータを送信します。

FOMA 端末内のデータをパソコンと送受信します

FOMA 端末は、データ通信用のプロトコルとして、OBEXを持っています。本データ通信 (OBEXによるデータの送受信) を使ってパソコンとの間でデータを送受信できます。

送受信できるデータは、次のとおりです。

- ・ 電話帳
- ・ 電話番号表示の個人データ
- ・ スケジュール
- ・ ToDo
- ・ 送信メール
- ・ 受信メール
- ・ 保存メール
- ・ テキストメモ
- ・ メロディ
- ・ 静止画
- ・ 動画
- ・ ダウンロードした静止画
- ・ 取り込んだiモーション
- ・ ブックマーク

FOMA 端末では、次の3とおりのデータ通信方法があります。

- ・ パソコンからFOMA 端末にデータを1件ずつ送信する(1件書き込み)
- ・ パソコンからFOMA 端末にすべてのデータを一括で送信する(全件書き込み)
- ・ FOMA 端末からパソコンにすべてのデータを一括で送信する(全件読み出し)

FOMA N900iSには赤外線通信機能が搭載されています。赤外線通信機能 (P.346) を搭載したほかのFOMA 端末やパソコンなどと電話帳や受信メールなどのデータを送信したり、受信したりできます。

OBEXによるデータ通信を行う場合、「USBモード設定」を「通信モード」に設定しておく必要があります。設定方法については「FOMA 端末をminiSDリーダライタとして使います」(P.469)を参照してください。

お願い

- ・ FOMA 端末とパソコンの接続が正しくできているか十分に確認してください。正しく接続されていない場合、データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。
- ・ FOMA 端末の電池レベルがほとんど残っていない状態や電池切れの状態では、データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。FOMA 端末の電池が十分残っていることを確認してください。また、パソコンの電源についても確認してください。
- ・ パソコンからFOMA 端末への全件書き込みの途中で送信エラーが起こると、FOMA 端末内の書き込み対象のデータがすべて消去されることがあります。全件書き込みの前にケーブルの接続、FOMA 端末の電池レベル、パソコンの電源の状態を確認してください。

データの送受信 (OBEX) に必要な機器

データの送受信には次の機器が必要です。

項目	説明
必要な機器	<ul style="list-style-type: none"> ・ FOMA USB接続ケーブル(別売) ・ USBポートが使用可能なパソコン
OS	<ul style="list-style-type: none"> ・ Windows 98、Windows Me、Windows 2000、Windows XP(各日本語版)
必要なソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・ N900iS通信設定用ファイル

データ通信用のソフトの動作環境、インストール方法については、データ通信用のソフトの取扱説明書をご覧ください。

FOMA端末の「データの送受信(OBEX機能)」は、IrMC1.1に準拠しています。ただし、相手機器がIrMC1.1に準拠していてもアプリケーションによっては送受信できないデータがあります。

データの送受信利用にあたってのご注意

こんなときはデータの送受信や、登録ができません

- ・通信中(音声通話やテレビ電話、データ通信)にデータの送受信はできません。また、データの送受信中にはほかの通信もできません。ただし、データの送受信開始直後などは着信を受ける場合があります。その場合、データの送受信は中止されます。
- ・FOMAカードの電話帳、SMSは本データ通信で送受信できません。
- ・「オールロック(『基本編』のP.200)および「PIMロック(『基本編』のP.204)または「セルフモード(『基本編』のP.207)が設定されている場合、すべてのデータの送受信はできません。
- ・「ダイヤル発信制限(『基本編』のP.205)が設定されている場合、電話帳データの送受信はできません。
- ・「指定発信制限(『基本編』のP.141)が設定されている場合、電話帳データの受信はできません。
- ・データの大きさによってはFOMA端末で受信できない場合があります。
- ・データの送受信を行う前に「時計設定(『基本編』のP.65)で日付・時刻が設定されていることを確認してください。「時計設定」の設定が行われていないときは、受信したスケジュール、ToDoのデータを登録することはできません。
- ・受信したスケジュールと同じ日付時刻で同じ繰り返し設定(なし/あり)のスケジュールが登録されている場合には、受信したデータを登録することはできません。
- ・メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているメロディ、静止画やiモーションはパソコンに送信できない場合があります。
- ・別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを抜いたままFOMA端末の電源を入れた場合は、FOMAカード動作制限が設定されたメロディ、静止画、動画やiモーションは送信できません。

電話帳の送受信について

- ・電話帳のシークレットコードは送受信できません。
- ・「指定発信制限」が設定されている場合、受信はできませんが、電話帳データの送信の際には、「指定発信制限」を設定した電話帳データ、「電話番号表示」のデータを送信できます。
- ・「全件転送」を行うと「電話番号表示」のデータは電話帳と一緒に送信されます。
- ・電話帳を全件受信すると、「電話番号表示」に登録されている個人データ(電話番号を除く)も上書きされます。
- ・静止画や動画を「全件書き込み」とすると、静止画、動画の電話帳への登録情報は削除されますが、イメージビューア、ムービープレーヤーのデータは削除されません。
- ・電話帳のデータを受信する場合、「1件受信」のときは、メモリ番号「010」から、全件受信のときは、メモリ番号の情報に従って登録します。
- ・電話帳はメモリ番号順に送信されます。
- ・データの大きさによっては、送受信に時間がかかる場合があります。
- ・電話帳の送受信を行うと、登録されている静止画や動画も転送されるため、送受信に時間がかかる場合があります。FOMA端末からパソコンに送信する場合は、送信の時間を短縮するために、「電話帳画像転送(P.357)」を「しない」に設定し、電話帳の静止画や動画を転送しないようにできます。
- ・電話帳のデータを1件ずつ受信するとき(パソコンからFOMA端末(本体)へ送信するとき)は電話帳のメモリ番号「010」~「699」の空いているメモリ番号の中で最も小さいメモリ番号に登録されます。「010」~「699」がすべて登録されているときは、「000」~「009」(「ツータッチダイヤル」『基本編』P.110)の空いているメモリ番号の中で最も小さいメモリ番号に登録されます。
- ・電話帳のデータを受信した場合、すでに名前や電話番号またはメールアドレスが700件登録されているときや700件を超えるときは、登録できないことを通知するメッセージが表示されます。

こんなことにもご注意ください

- ・メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているデータはパソコンに送信できない場合がありますが、内蔵のカメラで撮影した写真(静止画)や動画や、OBEXで受信したデータ、miniSDメモリーカードからインポートしたデータは、ファイル制限が「あり」に設定されていても送信されます。
- ・データの送受信中は圏外となり、音声電話やテレビ電話、iモードやiモードメール、パケット通信などはできません。
- ・データの送受信終了後、しばらく「圏外」と表示される場合があります。
- ・本データ通信はマルチタスク機能が使えません。ほかの機能をすべて終了させてから操作を行ってください。
- ・静止画およびメロディ、動画やiモーションのデータ送受信は、IrMC規格外となるため、FOMA N900iSに対応したデータ転送用のソフトが必要です。静止画、メロディ、動画やiモーションはすべてINBOXに保存されます。
- ・iモーション取得前のiモーションメール、およびアプリの起動指定が貼り付けられているメールは、それぞれ貼り付けられているデータを削除して送信されます。
- ・フレームのデータやFlash画像は転送できません。
- ・メール連動型iアプリの受信メールフォルダは転送できません。フォルダ内のメールはすべて受信BOXフォルダに登録されます。
- ・受信メールやブックマークなどを送受信した場合、相手の機種によってはフォルダ分けの設定が反映されないことがあります。

お知らせ

電話帳を送受信する場合、受信するFOMA端末に静止画や動画を登録する空き容量がないときには登録された静止画や動画を登録することができません。

データを1件送信します(1件書き込み)

パソコンからFOMA端末へデータを1件ずつ送信します。

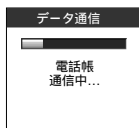
FOMA端末からパソコンへ1件ずつ送信することはできません。

データ送信の操作方法は、データ通信用のソフトによって異なります。詳しくは、データ転送用のソフトの取扱説明書をご覧ください。

1 パソコンでデータ通信用のソフトを使って、「1件書き込み」の操作をする

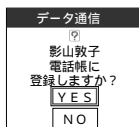
データ送信のしかたについては、データ通信用のソフトの取扱説明書をご覧ください。

2 パソコンからデータを送信する



データのサイズによっては通信状況を表すバー表示の進み具合が遅くなることがあります。

3 「YES」を選ぶ



受信を完了すると、通信の完了を通知するメッセージが表示されます。FOMA端末で受信が終わり、左画面の状態約30秒以内に操作をしないと、受信したデータを破棄して画面を終了します。

データを全件送受信します(全件書き込み / 全件読み出し)

パソコンとFOMA端末の間で全件書き込みと全件読み出しができます。

「全件書き込み」あるいは「全件読み出し」の操作では、データ通信用のソフトとFOMA端末の両方で認証パスワードを入力する必要があります。

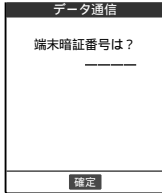
データ送信の操作方法は、データ通信用のソフトによって異なります。詳しくは、データ通信用のソフトの取扱説明書をご覧ください。

<例：FOMA端末からパソコンへデータを全件送信する場合>

1 データを送信(全件送受信)する

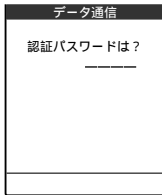
データ送信のしかたについては、データ転送用のソフトの取扱説明書をご覧ください。
パソコン側でも認証パスワードの入力が必要です。
認証パスワードは4桁の数字を入力してください。

2 FOMA端末で端末暗証番号を入力する



入力した端末暗証番号は「_」で表示されます。
端末暗証番号について P.21

3 FOMA端末で認証パスワードを入力する



入力した認証パスワードは「_」で表示されます。
認証パスワードについて P.353

4 データを送信する

送信を完了すると、通信の完了を通知するメッセージが表示されます。

おしらせ

パソコンからFOMA端末への「全件書き込み」を行うとFOMA端末のデータはすべて書き換えられます。元のFOMA端末のデータは消去されるのでご注意ください。「シークレットモード」「シークレット専用モード」で登録した電話帳、スケジュール、保護されたメールを含みます。ただし、フレームやFlash画像は消去されません。

次のような場合は、データを登録することができません。

- ・ 600Kバイトを超える静止画(静止画は596Kバイト以上の場合、登録できないことがあります)
- ・ 800Kバイトを超える動画

全件送受信の場合、通信状況を表すバー表示は送受信した件数を目安としてお知らせします。通信するデータのサイズによっては、データが正しく通信されていてもバー表示の進み具合が遅くなったり、通信の相手側と異なって見えることがあります。

相手の機器によっては、通信状況(バー表示)が表示されないことがあります。
フレームのデータやFlash画像は転送できません。

miniSDメモリーカードについて

SDメモリーカードをさらに小型化した“miniSDメモリーカード”を、FOMA端末内に挿入し、外部メモリとして利用できます。さらにminiSDメモリーカードは、miniSDメモリーカードアダプタに装着して、SDメモリーカードに対応したパソコンなどでも利用できます。

FOMA端末で撮影した静止画や動画、電話帳やメール、ブックマークなどのデータをminiSDメモリーカードにエクスポートしたり、miniSDメモリーカードに保存されているデータをFOMA端末にインポートしたり、置き換えることができます。また、miniSDメモリーカードに保存されている静止画や動画のデータなどをFOMA端末で再生することもできます。

FOMA端末で画面表示などに設定する画像や動画として、miniSDメモリーカードに保存されている画像や動画を利用することはできません。本体にインポートしてから設定してください。

miniSDメモリーカード装着時には「」が表示されます。

miniSDメモリーカード内のデータを操作したり、データをエクスポート/インポートするときには充電ランプが緑色(色5)で点滅します。また、miniSDメモリーカードを入れたまま電源を入れたときや、電源を切っているときに充電器をつないだ状態でminiSDメモリーカードを差し込んだときなどにも、充電ランプが緑色(色5)で点滅します。

miniSDメモリーカードおよびminiSDメモリーカードアダプタは、家電製品取扱店などでお買い求めいただけます。本FOMA端末では、64MバイトまでのminiSDメモリーカードに対応しています。(2004年6月現在)

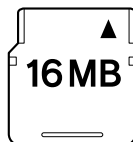
対応miniSDメモリーカードの最新情報は下記のサイトをご覧ください。

iモード :「iMenu」-「メニューリスト」-「ケータイ電話メーカー」-「みんなNらんど」

パソコンなど : NECモバイルホームページ <http://www.n-keitai.com>

miniSDメモリーカード(16MB)およびminiSDメモリーカードアダプタは、試供品のため無料修理保証の対象外となっております。

miniSDメモリーカード



取扱い上のご注意

フォーマットは必ず本FOMA端末で行ってください。ほかの端末やパソコンでフォーマットしたminiSDメモリーカードは、使用できないことがあります。 P.381

miniSDメモリーカードを取扱う場合のご注意は、次のとおりです。

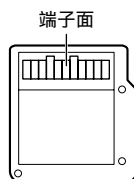
miniSDメモリーカードに保存したデータは、別のminiSDメモリーカードやパソコンなどにもバックアップしておくことをおすすめします。miniSDメモリーカードの破損などにより、保存したデータが消失した場合、当社として責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

miniSDメモリーカードは、FOMA端末の電源を切った状態で取り付けや取り外しを行ってください。

miniSDメモリーカードは正しく取り付けてください。正しく取り付けられていないとご利用になれません。

miniSDメモリーカードは、ご使用になる前にフォーマットしてください。フォーマットしないとFOMA端末からデータをエクスポートすることができません。

miniSDメモリーカードの端子面に触れたり、水に濡らしたり、汚さないようにしてください。



miniSDメモリーカードを曲げたり、折ったりしないでください。

次のような操作をしているときには、miniSDメモリーカードをFOMA端末から抜いたり、FOMA端末の電源を切ったり、電池パックを取り外さないでください。

- ・miniSDメモリーカードをフォーマットしているとき
- ・データをエクスポート/インポートしているとき
- ・「長時間ムービー」(P.266)で撮影しているとき
- ・「miniSDリーダーライター」(P.469)として利用しているとき

など

FOMA端末の電池残量が少ないときは、miniSDメモリーカードを利用することができない場合があります。

miniSDメモリーカードを持ち運ぶときや保管する際は、miniSDメモリーカードに付属のソフトケースに入れてください。

長時間お使いになった後、取り外したminiSDメモリーカードが温かくなっている場合がありますが故障ではありません。

強い静電気や電氣的ノイズの発生しやすい環境での使用や保管は避けてください。

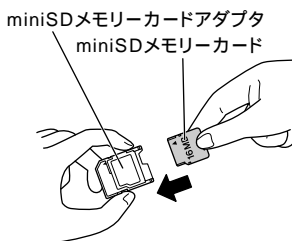
本FOMA端末からminiSDメモリーカードに保存されたデータを他の機種や機器で読み込んだり、他の機種や機器からminiSDメモリーカードに保存されたデータを本FOMA端末で読み込んだ場合は、機種や機器によっては読み込みができないデータがあります。

miniSDメモリーカードアダプタに装着します

miniSDメモリーカードを、SDメモリーカードに対応したパソコンなどで利用するときは、miniSDメモリーカードアダプタに装着してください。

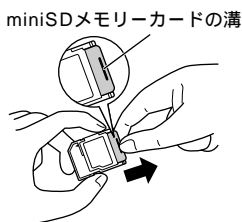
装着のしかた

- 1 miniSDメモリーカードとminiSDメモリーカードアダプタの印刷面を上にして、miniSDメモリーカードをminiSDメモリーカードアダプタの奥まで差し込む



取り外しかた

- 1 miniSDメモリーカードの溝の部分を持って引き抜く



おしらせ

miniSDメモリーカードアダプタを持つときは、miniSDメモリーカードアダプタの両端を持ってください。miniSDメモリーカードアダプタの印刷面を持つと、miniSDメモリーカードアダプタが破損する場合があります。

miniSDメモリーカードアダプタにminiSDメモリーカードが装着されていない状態でSDメモリーカード対応機器に挿入しないでください。このような使いかたをすると、機器に不具合が生じる場合があります。

miniSDメモリーカードアダプタをSDメモリーカード対応機器に挿入する場合は、正しい方向を確認の上ご使用ください。

miniSDメモリーカードアダプタには、miniSDメモリーカード以外のものを挿入しないでください。miniSDメモリーカードアダプタの故障や破損の原因になります。

miniSDメモリーカードアダプタをねじったり、曲げたりしないでください。miniSDメモリーカードアダプタが破損します。

フォルダ構成について

エクスポート/インポートや上書きできるデータは、次のとおりです。

- ・ 電話帳
- ・ テキストメモ
- ・ スケジュール
- ・ ToDo
- ・ 送信メール
- ・ 受信メール
- ・ 保存メール
- ・ ブックマーク
- ・ 静止画および動画

フォルダの構成について

miniSDメモリーカードには、保存するデータの種別に「DCIM」、「SD_VIDEO」、「SD_PIM」のフォルダが用意されています。

フォルダ名	保存するデータの種別
DCIM	静止画データ(JPEG)
SD_VIDEO	動画データ(MP4)
SD_PIM	電話帳、スケジュール、ToDo、テキストメモ、メール、ブックマーク



DCIMフォルダ
画像のデータが保存されるフォルダ(JPEG)



SD_VIDEOフォルダ
動画のデータが保存されるフォルダ(MP4)



SD_PIMフォルダ
電話帳、スケジュール、ToDo、テキストメモ、受信メール、送信メール、保存メール、ブックマークのデータが保存されるフォルダ



DPOFフォルダ
自動プリントファイルが保存されるフォルダ



・「PRIVATE」と「DOCOMO」のフォルダにデータをコピーすることはできません

おしらせ

パソコンなどからminiSDメモリーカードにデータを保存するときも、データの種別に合ったそれぞれのフォルダに保存してください。種類の違うデータをほかのフォルダに保存することはできませんが、種類の違うデータはFOMA端末で認識できず表示されません。また、これらのフォルダを削除したり別のフォルダの中に移動したりすると、FOMA端末に取り付けたときにフォーマットするかどうかのメッセージが表示されることがあります。フォーマットすると、保存されていたデータはすべて削除されます。フォーマットしない場合は、削除や移動していないフォルダに保存されているデータを表示できます。たとえば、DCIMフォルダを削除しても、SD_VIDEO、SD_PIMの各フォルダに保存されているデータは表示できます。

作成されるファイルについて

「ファイル」とは、1件または複数のデータを1つにまとめて保存したデータのことです。ファイルをコピーすると、データの種類によって保存するフォルダが自動的に選ばれ、自動的にフォルダ名、ファイル名がつけられてminiSDメモリーカードに保存されます。各フォルダに保存されるファイルは次のようになります。

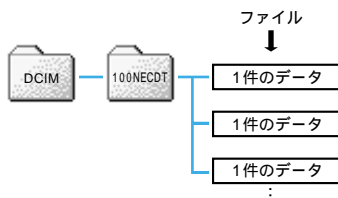
DCIMフォルダ

はじめて静止画をエクスポートするとき自動的に作成されるフォルダで、フォルダ内にデータが保存されます。

静止画データ1件ごとに1件のファイルとなります。

作成されるフォルダ名とファイル名は次のとおりです。

- ・フォルダ名：nnnNECDT (nnn = 100 ~ 999)
- ・ファイル名：NEC_mmmm (mmmm = 0001 ~ 9999)



おしらせ

パソコンなどからminiSDメモリーカードにファイルを保存するとき、「NEC_mmmm」のように半角の英数字でファイル名をつけてください。「NEC」の部分は、任意の英数字にすることもできます。これ以外のファイル名だと、FOMA端末では認識できず表示されません。同じフォルダ内にファイル名の「mmmm」の部分と同じ静止画が複数保存されている場合、一覧表示のタイトルが「-----」と表示され、コピー、移動、削除以外の操作ができなくなります。このようなデータは、別のフォルダにコピー、移動すると自動的に新しいファイル名がつけられ、画像の表示やタイトル編集などができるようになります。

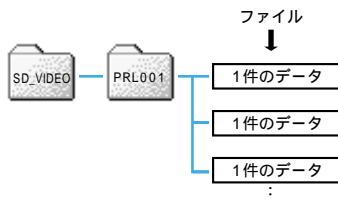
SD_VIDEOフォルダ

はじめて動画をエクスポートするとき自動的に作成されるフォルダで、フォルダ内のPRL001フォルダにデータが保存されます。

動画データ1件ごとに1件のファイルとなります。

作成されるフォルダ名とファイル名は次のとおりです。

- ・フォルダ名：PRLxxx (xxx = 001 ~ FFF : 16進数)
- ・ファイル名：MOLxxx (xxx = 001 ~ FFF : 16進数)



お知らせ

パソコンなどからminiSDメモリーカードにファイルを保存するときも、「MOLxxx」のように半角の英数字でファイル名をつけてください。これ以外のファイル名だと、FOMA端末では認識されず表示できません。また、「MOL」の部分を変更しても、FOMA端末では認識されません。

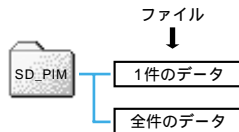
SD_PIMフォルダ

1件エクスポートしたデータも、全件エクスポートしたデータも、1件のファイルで保存されます。

たとえば、受信メールを全件エクスポートすると、作成されたファイルには受信メールのすべてのデータがまとめて保存されます。

作成されるファイル名は次のとおりです。

- ・ファイル名：PIMnnnnn(nnnnn = 00001 ~ 65535)



miniSDメモリーカードに保存できる件数について

miniSDメモリーカードに保存できる件数は、ご使用になるminiSDメモリーカードのメモリ容量によって変わります。1つのフォルダに保存できるファイルの最大件数および追加できるフォルダの最大件数は次のとおりです。フォルダを追加して、エクスポートする場所を変えたりすることによって、より多くのファイルを保存できます。ただし、ファイルの容量によっては最大件数まで保存できない場合があります。

フォルダ名	フォルダ最大件数	1つのフォルダに保存できるファイルの最大件数
DCIM	900件	9,999件
SD_VIDEO	4,095件	4,095件
SD_PIM	1件	65,535件

miniSDメモリーカードのメモリ容量とメモリ空き容量は、miniSDメモリーカード内のデータの情報を確認します (P.381) で確認できますが、表示されるメモリ容量は、ご使用のminiSDメモリーカードに記載されているメモリ容量より少なくなります。

- ・ miniSDメモリーカードの空き容量が不足している場合、電話帳、スケジュール、ToDo、テキストメモ、メール、ブックマークをエクスポートしようとする、容量不足でエクスポートできないというメッセージが表示されます。また、静止画、動画のときは機能メニューの「エクスポート」がグレー表示となります。このようなときは、ほかのminiSDメモリーカードに交換するか、不要なデータを削除してからエクスポートし直してください。
- ・ エクスポート先のフォルダ内のファイルが最大件数になっているときは、件数がいっぱいというメッセージが表示され、miniSDメモリーカードにエクスポートできません。
- ・ miniSDメモリーカード内の容量がいっぱいの場合、静止画、動画のフォルダ追加やタイトル編集、コピー / 移動などはできません。不要なデータを削除してから操作を行ってください。

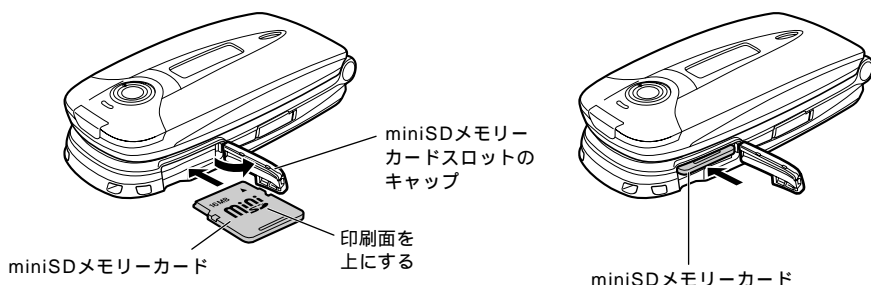
取り付けかた / 取り外しかた

miniSDメモリーカードは、FOMA端末のカードスロットに差し込んで使います。

取り付けかた

FOMA端末の電源を切った状態で取り付けてください。

miniSDメモリーカードを取り付けるときは、無理に差し込まないでください。



1 miniSDメモリーカードスロットのキャップを開ける

2 miniSDメモリーカードスロットにminiSDメモリーカードを差し込み、ロックされるまで押し込む

miniSDメモリーカードの印刷面を上にしてゆっくりと差し込んでください。完全に奥まで押し込むとロックされます。

3 miniSDメモリーカードスロットのキャップを閉じる

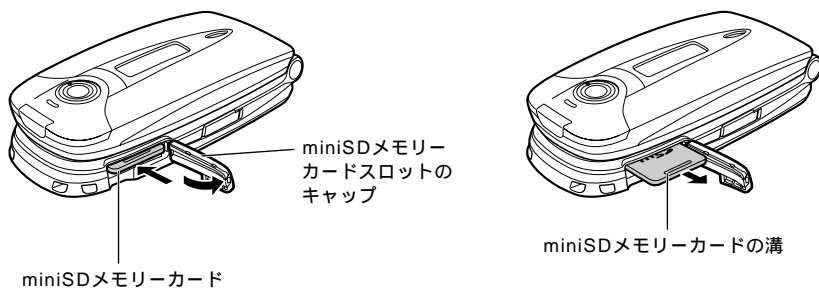
miniSDメモリーカードを取り付け後、電源を入れると、ディスプレイに「SD」が表示されます。

おしらせ

miniSDメモリーカードに不具合のある場合や、正常にフォーマットできなかった場合には「SD」が表示されます。

取り外しかた

FOMA端末の電源を切った状態で取り外してください。
miniSDメモリーカードを取り外すときは、無理に引き抜かないでください。



1 miniSDメモリーカードスロットのキャップを開ける

2 miniSDメモリーカードを軽く押し込む

miniSDメモリーカードを押し込んで手を離すと、miniSDメモリーカードが少し出てきます。このとき、miniSDメモリーカードが飛び出すこともありますのでご注意ください。

3 miniSDメモリーカードをゆっくりと引き抜いて取り外す

miniSDメモリーカードの溝の部分を持ち、まっすぐにゆっくりと抜いてください。

4 miniSDメモリーカードスロットのキャップを閉じる

miniSDメモリーカードを使います

FOMA端末に登録されているデータをminiSDメモリーカードにエクスポートしたり、miniSDメモリーカードからFOMA端末にデータをインポートすることができます。また、miniSDメモリーカードのデータをFOMA端末のデータに上書きすることもできます。

データをFOMA端末からminiSDメモリーカードへコピーする操作を「エクスポート」、miniSDメモリーカードからFOMA端末にコピーする操作を「インポート」といいます。miniSDメモリーカードからFOMA端末に登録する操作をインポートといいます。データのエクスポート/インポートや上書きができるのは、次のとおりです。

- ・ 電話帳
- ・ テキストメモ
- ・ スケジュール
- ・ ToDo
- ・ 送信メール
- ・ 受信メール
- ・ 保存メール
- ・ ブックマーク
- ・ 静止画および動画

エクスポートとインポートの種類について



静止画、動画のエクスポート/インポート

	内容	参照ページ
エクスポート	選んだ静止画や動画のデータ1件をminiSDメモリーカードのDCIMフォルダまたはSD_VIDEOフォルダに保存します。	P.373
インポート	miniSDメモリーカードに保存されている静止画や動画の1件のデータをFOMA端末に保存します。	P.377

電話帳、スケジュール、ToDo、メール、テキストメモ、ブックマークのエクスポート/インポート

	内容	参照ページ
1件エクスポート	選んだデータ1件をminiSDメモリーカードのSD_PIMフォルダに保存します。	P.373
全件エクスポート	選んだ項目のすべてのデータをminiSDメモリーカードのSD_PIMフォルダに保存します。	P.375
追加1件インポート	miniSDメモリーカードのSD_PIMフォルダに保存されている1件のデータをFOMA端末に追加登録します。	P.378
追加全件インポート、追加インポート	miniSDメモリーカードのSD_PIMフォルダに保存されている1件のファイルの全データをFOMA端末に追加登録します。	P.378
上書全件インポート、上書インポート	FOMA端末のデータを削除してminiSDメモリーカードのSD_PIMフォルダに保存されている1件のファイルの全データをFOMA端末に登録します。	P.379

おしらせ

データの件数によっては、エクスポート/インポートに時間がかかる場合があります。SD_PIMのデータは、エクスポート/インポート中、圏外となることがあります。音声電話やテレビ電話、iモード、iモードメール、パケット通信などはできません。エクスポート/インポートが終わるまで、miniSDメモリーカードを抜かないください。エクスポート/インポート中に  選択 または  を押してエクスポート/インポートを中止した場合でも、データの一部がminiSDメモリーカードやFOMA端末に保存されることがあります。同じデータをエクスポート/インポートしたときは、上書きされず別のデータとして保存されます。FOMA端末の電池残量が少ないときは、miniSDメモリーカードを利用することができない場合があります。また、エクスポート/インポート中に電池切れアラームが鳴ったときは中断されます。

エクスポート/インポートするデータについて

静止画、動画のデータ

	形式	データ
イメージビューア	JPEG	INBOXフォルダ、カメラフォルダ、miniSDフォルダ、ユーザ作成フォルダ内のデータ
ムービープレーヤー	MP4	INBOXフォルダ、カメラフォルダ、miniSDフォルダ、ユーザ作成フォルダ内のデータ

- ・ miniSDメモリーカードからFOMA端末へインポートされたデータは、miniSDメモリーカード内で自動的につけられたフォルダ名、ファイル名を表示します。

おしらせ

静止画のエクスポート/インポート時には、必要に応じてデータを変換・圧縮しますので、ファイルサイズが変わったり、画像が劣化することがあります。

画像サイズがヨコ640×タテ480ドットを超える静止画の場合、画像によってはヨコ640×タテ480ドットに縮小されることがあります。

画像サイズがヨコ1616×タテ1212ドットを超える静止画や容量が600Kバイトを超える静止画はインポートできません。また、静止画によっては596Kバイトを超えると保存できない場合があります。

電話帳のデータ

件数		データ
全件	1件	名前、フリガナ、電話番号、メールアドレス、短縮ダイヤル、メモ、静止画、動画、メモリダイヤル番号
		シークレット属性、グループ番号、グループ

- ・ シークレット属性は、シークレットモードに登録してあるデータのことで。

おしらせ

電話帳に登録されている静止画と動画の情報は、「電話帳画像転送 (P.357)」を「しない」に設定している場合は、エクスポートされません。

電話帳のシークレットコードは、エクスポート/インポートできません。

本FOMA端末は短縮ダイヤルに対応していないため、短縮ダイヤルのデータは表示されません。

「1件エクスポート」する場合には、シークレット属性は「なし」でエクスポートします。

「全件エクスポート」する場合には、電話番号表示のデータも電話帳のデータとしてエクスポートします。

スケジュールのデータ

件数		データ
全件	1件	開始日時、終了日時、内容、分類、アラーム設定、繰り返し設定
		シークレット属性

- ・ シークレット属性は、シークレットモードに登録してあるデータのことで。

おしらせ

「1件エクスポート」する場合には、シークレット属性は「なし」でエクスポートします。

ToDoのデータ

件数		データ
全件	1件	内容、分類、完了日、期限、状態、優先順位、アラーム設定
		-

テキストメモのデータ

件数		データ
全件	1件	作成日時、最終修正日、分類、内容
		-

受信メール、送信メール、保存メール、SMSのデータ

件数		データ
全件	1件	未読 / 既読、メッセージタイプ、メッセージボックス、差出人、宛先、タイトル、受信 / 送信日時、本文、添付
		受信メールの全件エクスポートでは、フォルダ(フォルダ名)の転送が可能です。

- ・1件のエクスポート/インポートでは、受信メール、送信メールの保護は解除されます。
- ・ファイル制限が「あり」のメロディ(赤外線通信やOBEXで受信したデータ、miniSDメモリーカードからインポートしたデータを除く)が添付または貼り付けられているメール、iモーション取得前のiモーションメール、iアプリの起動指定が貼り付けられているメールは、メロディ、iモーションおよびiアプリの起動指定を削除してエクスポートします。

ブックマークのデータ



件数		データ
全件	1件	URL、タイトル
		ブックマークの全件エクスポートでは、フォルダ(フォルダ名)の転送が可能です。

FOMA端末からminiSDメモリーカードにデータを1件エクスポートします

静止画、動画データの場合

- ・エクスポートは、INBOXフォルダ、カメラフォルダ、ユーザ作成フォルダから行うことができます。

<例：イメージビューアの静止画データを1件エクスポートするとき>


1   「イメージビューア」の順に選ぶ

イメージビューアについて P.300

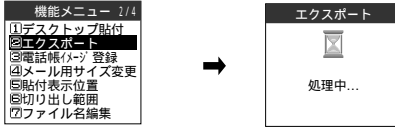
2 「カメラ」を選ぶ

3 エクスポートするファイルを選ぶ

ファイルの内容を確認する場合

 [表示] を押すと、ファイルの内容が表示されます。

4 機能メニューから「エクスポート」を選ぶ



カメラフォルダ内のイメージファイルが、miniSDメモリーカードにエクスポートされます。

保存先フォルダの登録ファイル数が保存できる最大件数を超過している場合は、自動的に新しいフォルダが作成され、そのフォルダに保存されます。

電話帳、スケジュール、ToDo、メール、テキストメモ、ブックマークのデータの場合

< 例：電話帳のデータを1件エクスポートするとき >

1 の順に選ぶ

2 エクスポートする電話帳を選ぶ

スケジュールのデータをエクスポートする場合

スケジュールの内容を確認します。『基本編』のP.216

ToDoのデータをエクスポートする場合

ToDoの内容を確認します。『基本編』のP.228

受信メール、送信メール、保存メールをエクスポートする場合

メール機能 P.134

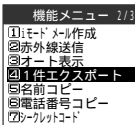
テキストメモのデータをエクスポートする場合

テキストメモ 『基本編』のP.234

ブックマークのデータをエクスポートする場合

サイトやホームページを登録して利用します。 P.53

3 機能メニューから「1件エクスポート」を選ぶ



4 「YES」を選ぶ

データがエクスポートされます。

「1件エクスポート」を中止する場合

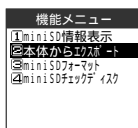
「NO」を選んで  [選択] を押す

静止画、動画のデータを全件エクスポートすることはできません。

<例：電話帳のデータを全件エクスポートするとき>

1   「SD-PIM」の順に選ぶ

2 「電話帳」を反転表示させ、機能メニューから「本体からエクスポート」を選ぶ



スケジュール、ToDoのデータを全件エクスポートする場合
「スケジュール」を反転表示させ、機能メニューから「本体からエクスポート」を選ぶ

受信BOX、送信BOX、保存BOXのデータを全件エクスポートする場合

「受信BOX」、「送信BOX」、「保存BOX」を反転表示させ、機能メニューから「本体からエクスポート」を選ぶ

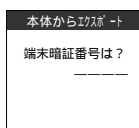
テキストメモのデータを全件エクスポートする場合

「テキストメモ」を反転表示させ、機能メニューから「本体からエクスポート」を選ぶ

ブックマークのデータを全件エクスポートする場合

「Bookmark」を反転表示させ、機能メニューから「本体からエクスポート」を選ぶ

3 端末暗証番号を入力する



端末暗証番号(P.21)を入力して●[確定]を押します。

入力した端末暗証番号は「_」で表示されます。

4 「YES」を選ぶ

データがエクスポートされます。

「本体からエクスポート」を中止する場合



「NO」を選んで●[選択]を押す

miniSDメモリーカード内のデータを表示します

miniSDメモリーカードに保存されているデータを表示して、確認できます。

静止画、動画データの場合


<例：miniSDメモリーカード内のムービープレーヤーの動画データを表示するとき>

1   「ムービープレーヤー」の順に選ぶ
ムービープレーヤーについて P.314

2 「miniSD」を選ぶ

3 表示させたいデータの入っているフォルダを選ぶ

4 表示させたいデータを選ぶ

5  「再生」を押す

ファイルの内容が再生されます。



電話帳、スケジュール、ToDo、メール、テキストメモ、ブックマークのデータの場合

<例：テキストメモのデータを表示するとき>

1   「SD-PIM」の順に選ぶ

2 「テキストメモ」を選ぶ

電話帳のデータを表示する場合

「電話帳」を選ぶ

スケジュール、ToDoのデータを表示する場合

「スケジュール」を選ぶ

受信BOX、送信BOX、保存BOXのデータを表示する場合

「受信BOX」、「送信BOX」、「保存BOX」を選ぶ

ブックマークのデータを表示する場合

「Bookmark」を選ぶ

3 表示させたいデータを選ぶ



miniSDメモリーカードからFOMA端末にデータをインポートします



miniSDメモリーカードに保存されているデータを、FOMA端末にインポートすることができます。

静止画、動画のデータを全件インポートすることはできません。

800Kバイトを超えるMP4形式のデータは、800Kバイト以下のデータに処理して保存するため、インポートに時間がかかるというメッセージが表示されます。また、その場合テロップ付きの動画データは、テロップを削除してインポートされます。

静止画、動画データの場合

<例：イメージビューアの静止画データを1件インポートするとき>

- 1   「イメージビューア」の順に選ぶ
イメージビューアについて P.300

2 「miniSD」を選ぶ

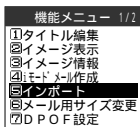
3 インポートしたいファイルの入っているフォルダを選ぶ

4 インポートしたいファイルを選ぶ

ファイルの内容を見る場合

●[表示]を押す

5 機能メニューから「インポート」を選ぶ



miniSDメモリーカード内のイメージファイルが、FOMA端末にコピーされます。

タイトルのないイメージファイルは「年/月/日_時:分」で、タイトルのないムービーファイルはファイル名で表示されます。

電話帳、スケジュール、ToDo、メール、テキストメモ、ブックマークのデータの場合

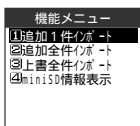
<例：スケジュールのデータを1件インポートするとき>

1   「SD-PIM」の順に選ぶ

2 「スケジュール」を選ぶ

3 インポートしたいデータを選ぶ

4 機能メニューから「追加1件インポート」を選ぶ



ファイルをまとめてインポートする場合

「追加全件インポート」を選んで●[選択]を押し、端末暗証番号(P.21)を入力して●[確定]を押す

5 「YES」を選ぶ

データがインポートされます。

FOMA端末の保存量を超えたデータはインポートされませんが、インポート済みのデータについてはFOMA端末に登録されます。

追加インポートを中止する場合

「NO」を選んで●[選択]を押す

miniSDメモリーカードのデータをFOMA端末に上書きします

miniSDメモリーカードに保存されているデータを、FOMA端末のデータに上書きします。上書きをすると、FOMA端末の選んだ項目のデータが削除されて、上書きしたデータに入れ替わります。上書きする前に、大切なデータが登録されていないことを確認してください。

静止画、動画のデータを上書きすることはできません。

「指定発信制限」や「ダイヤル発信制限」設定中は電話帳の上書きインポートはできません。

「指定着信拒否」、「指定着信許可」が設定されているデータでも、すべて上書きされて削除されます。

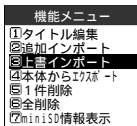
上書きの途中でFOMA端末のデータがいっぱいになったときは、インポートできないというメッセージが表示され、それまで読み込んだデータで上書きされます。

<例：電話帳のデータを上書きする場合>

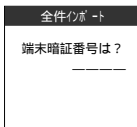
1   「SD-PIM」の順に選ぶ

2 「電話帳」を選ぶ

3 機能メニューから「上書インポート」を選ぶ



4 端末暗証番号を入力する



端末暗証番号(P.21)を入力して●[確定]を押します。

5 「YES」を選ぶ

データがインポートされます。

「上書インポート」を中止する場合

「NO」を選んで●[選択]を押す



miniSDメモリーカードのデータを削除します

miniSDメモリーカードに保存されているファイルを削除します。

電話帳、スケジュール、ToDo、メール、テキストメモ、ブックマークのデータについては、1件エクスポートしたデータも、全件エクスポートしたデータも1件のファイルとして保存されます。「1件削除」を選ぶと、ファイル単位で削除されます。

静止画、動画データの場合

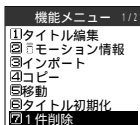
<例：ムービープレーヤーの動画データを削除するとき>

1   「ムービープレーヤー」▶「miniSD」の順に選ぶ

ムービープレーヤーについて P.314

2 削除するデータの入っているフォルダを選び、削除するデータを反転表示させる

3 機能メニューから「1件削除」を選ぶ



ファイルをまとめて削除する場合

「全削除」を選んで [選択] を押し、端末暗証番号 (P.21) を入力して [確定] を押す

4 「YES」を選ぶ

データが削除されます。

データの削除を中止する場合

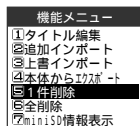
「NO」を選んで [選択] を押す

電話帳、スケジュール、ToDo、メール、テキストメモ、ブックマークのデータの場合

<例：ブックマークのデータを削除するとき>

1   「SD-PIM」▶「Bookmark」の順に選ぶ

2 機能メニューから「1件削除」を選ぶ



データをまとめて削除する場合

「全削除」を選んで [選択] を押し、端末暗証番号 (P.21) を入力して [確定] を押す

3 「YES」を選ぶ

データが削除されます。



データの削除を中止する場合

「NO」を選んで [選択] を押す

miniSDメモリーカード内のデータの情報を確認します

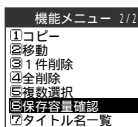
miniSDメモリーカードの残りメモリと使用メモリを確認します。

<例：イメージビューアの静止画情報を確認するとき>

1   「イメージビューア」▶「miniSD」の順に選ぶ
イメージビューアについて P.300

2 情報を確認するフォルダを選び、情報を確認するデータを選択する

3 機能メニューから「保存容量確認」を選ぶ



FOMA端末、miniSDメモリーカードそれぞれの残りメモリ、使用メモリの情報を表示します。

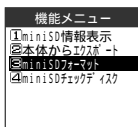
miniSDメモリーカードを初期化します

フォーマットは必ず本FOMA端末で行ってください。ほかの端末やパソコンでフォーマットしたminiSDメモリーカードは、使用できないことがあります。

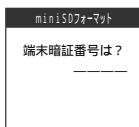
miniSDメモリーカードをフォーマットして、FOMA端末で使用できるようにします。miniSDメモリーカードをフォーマットすると、保存されているデータはすべて削除されます。フォーマットをするときは、大切なデータが保存されていないことを確認してください。miniSDのフォーマットでは、全領域のデータ消去後、システム領域の設定を行います。miniSDメモリーカードが書き込み保護がかけられていたり、不具合のある場合には、miniSDのフォーマットを行うことはできません。

1   「SD-PIM」の順に選ぶ

2 機能メニューから「miniSDフォーマット」を選ぶ



3 端末暗証番号を入力する



端末暗証番号(P.21)を入力して、 [確定]を押します。
入力した端末暗証番号は、「_」で表示されます。

4 「YES」を選ぶ

miniSDメモリーカードがフォーマットされます。
miniSDフォーマットの途中で [中止]を押して中止したとき、また着信などで中止したときには、「」が表示されます。

「miniSDフォーマット」を中止する場合
「NO」を選んで [選択]を押す

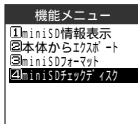
miniSDメモリーカードをチェックします

miniSDメモリーカードの操作をしているときに電源が切れたときには、データに不具合が生じることがあります。このような場合に、miniSDメモリーカードの状態をチェックして修復できることもあります。

miniSDメモリーカードに、不具合のある場合は、チェックディスクを行うことはできません。

1 「SD-PIM」の順に選ぶ

2 機能メニューから「miniSDチェックディスク」を選ぶ



3 「YES」を選ぶ

miniSDメモリーカードのデータをチェックします。

「miniSDチェックディスク」を中止する場合
「NO」を選んで [選択]を押す